

第154回理事会および第96回・97回評議員会が3月6日（木）に開かれ、2008年度事業計画と予算を審議、承認した。また、予算に基づく事業計画の柱は概ね次のとおりである。

## 【基本方針】

「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」という教育方針を信条に、全職員を挙げて社会から信頼を得る高度歯科医療人の養成に取り組む。

歯科医師として相応しい知識と教養を身につけさせるための、教育課程等を強化する。

学修支援にとどまらない、生活面からの学生支援を強化する。

多様化する患者のニーズに対応し、高度医療機関としての病院の専門性、総合性を高める。

大学院博士課程において、国際交流事業の充実を図り、国際的視野を持った医療人を育成し、国際的に通用性のある研究を推進させる。

教育、研究および診療等の全領域において、その成果を積極的に公表するとともに地域社会との連携を深める。

全学生・全職員の健康に関する意識向上と健康維持を図る。

職員自ら学生の模範となるべく個々の資質向上を図る。

歯科衛生士養成機関の修業年限3年制への移行に伴い、多様化する社会に対応するための既存学校の改組転換を行う。

温暖化防止対策等に積極的に取り組み、地球環境に配慮したキャンパス整備を行う。

歯学部志望者の減少に対応し、本学歯学部の募集人員削減等を含めた入試制度構築を図る。

歯学部募集人員削減に対応し、法人の財政基盤安定を図る。

## 【事業計画】

### 1. 教育・研究等について

#### 《歯学部》

総合的学力の判定システムを導入した学年進級制とする。

「口腔インプラント講座」を新設。大学院の博士臨床歯学コース・歯科インプラント学との連携を図る。

全学年において「医療人行動学」を導入する。

教育学習支援センターに相談室を設置。心理カウンセラー・保健師等を配置などし、学生への学習支援、心身のケア支援を行う。

体育施設の整備とともに、健康管理指導体制を構築し、学生個々の健康増進を図る。

学生の規則正しい食生活習慣を図り、1日3食を500円程度で、個々の栄養バランスを考慮したメニューを提供する。

### 《大学院歯学独立研究科》

より一層の教育課程の充実を図る。

大学院に研修生（仮称）制度の設置を検討し、本学の歯科医学生涯研修事業の中核として位置づける。

医療経営に関するコース設置を推進する。

国際的に通用性のある学生を育成し、国際交流事業の充実を図る。

東京大学、ハーバード大学等との共同研究を強化、推進する。

### 《衛生学院》

既存の松本歯科大学衛生学院を改組し、短期大学として設置申請を行う。また、必要な施設・設備等を調査・検討し、開校に向け積極的に計画を推進する。

## 2. 病院・診療等について

診療科等を改組する。

MRI診断装置の導入。

口腔インプラント講座の新設によるインプラント研究と診療体制の充実を図る。

医歯総合健康ドックの幅広い活用を図る。

健康づくりセンターの設置。

## 3. 管理・運営等について

臨床教育、総合型系統教育の充実を図るため、本館を改修。

他大学にない本学の特色が伝わる広報・学生募集の方法を確立し、多くの学生が受験を希望する広報活動を展開する。

第三者評価に向けて、点検・評価に関連した教育体制改善点を抽出し、緊急な対応策の策定・実施を推進する。

本学サテライト診療機関（新宿モノリスデンタルセンター）の充実を図る。

本学健康向上プロジェクト

本学関係者に加え、地域住民への施設利用を促進し、地域貢献度の向上・交流の強化を図る。

新設の内科による運動指導施設の有用性と特定健診導入後の対応施設として運用する。